

(別紙 2 - 1)

[認知症対応型共同生活介護用]

1. 評価結果概要表

作成日 平成19年11月6日

【評価実施概要】

事業所番号	4270202361		
法人名	医療法人愛和会		
事業所名	ハナレイ倶楽部グループホーム		
所在地	長崎県佐世保市城山町3番21号 (電 話) 0956-37-1511		
評価機関名	特定非営利活動法人 医療・福祉ネットワークせいわ		
所在地	佐賀県佐賀市木原二丁目6番5号		
訪問調査日	2007年9月25日	評価確定日	2007年11月12日

【情報提供票より】 (19年 9月 5日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和 <u>平成</u> 16年 10月 1日
ユニット数	2 ユニット 利用定員数計 18 人
職員数	18 人 常勤 16人, 非常勤 2人, 常勤換算 16人

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート 造り
	4 階建ての 2 ～ 3 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃 (平均月額)	34,000～37,000 円	その他の経費(月額)	3,000+実費 円
敷 金	有 (円)	(無)	
保証金の有無 (入居一時金含む)	<u>有</u> 50,000 円 無	有りの場合 償却の有無	<u>有</u> 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,000 円		

(4) 利用者の概要 (9月 5日現在)

利用者人数	18 名	男性 5 名	女性 13 名
要介護 1	7 名	要介護 2	6 名
要介護 3	3 名	要介護 4	2 名
要介護 5	— 名	要支援 2	— 名
年齢	平均 85.9 歳	最低 67 歳	最高 98 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	村上内科病院	池永外科	山村医院	梅津歯科医院
---------	--------	------	------	--------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

ホームは、国道沿いに位置し、病院に併設した4階建ての2～3階部分に二つのユニットが設けられています。ハワイのハナレイ村をイメージしたホーム内は、明るく清潔なイメージが漂っています。ベランダの花々の栽培には、入居者が積極的に関わっておられ、訪問時も花のことを尋ねると嬉しそうに紹介して頂きました。管理者はユニット毎に配置されており、スタッフ数も充実している中で、共通の理念を中心に支援が展開されています。教育委員会を設置し活動されるなど、スタッフ教育への積極的な姿勢は、理念に掲げられている「安全で安心できる熟練した介護」を実現するための取り組みで、日々理念の実現に向けた活動が展開されています。

【重点項目への取組状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況 (関連項目：外部4)
	前回評価結果を踏まえた改善に取り組まれています。 改善計画シートの活用により改善課題を明確にされ、可能なことから取り組まれています。個別に確認すれば、まだ不十分な事項もありますが、今後更に改善していきたいといった積極的な姿勢がうかがえます。
	今回の自己評価に対する取り組み状況 (関連項目：外部4) 評価の意義はスタッフに浸透しています。 自己評価はスタッフ全員で取組まれ、評価制度の意義がスタッフ全体に浸透しています。今回の自己評価に基づく改善活動はこれからといったところですが、改善に向けた姿勢から今後の取り組みに期待できます。
重点項目②	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み (関連項目：外部4, 5, 6)
	始まったばかりの状況で、これからの活動に期待します。 議事録から、ホームの活動や特性についての紹介、地域の方やご家族からの積極的な意見が確認できました。まだ、第一回目が開催されたのみであり、今後は、評価結果を活用し課題を共有化するなど、積極的な取り組みを期待します。
重点項目③	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映 (関連項目：外部7, 8)
	ご家族の意見を運営に反映されることを期待します。 意見箱の設置や家族会の実施など、ご家族の意見を聴取するよう努められていますが、その実績については確認できませんでした。今後もご家族の意見を運営に反映されるよう、積極的な取り組みを期待します。
重点項目④	日常生活における地域との連携 (関連項目：外部3)
	地域行事への参加や地域との交流に努められています。 地域行事を、地域との協働の場と捉え、保育園や中学校の行事への参加や、町内会にも加入されています。ホームの行事への参加も呼びかけられており、自主的に近隣の清掃活動も実施されています。今後は、運営推進会議も含めた継続的な取り組みを期待します。

(別紙2-2)

2. 評価結果 (詳細)

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念の共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	ホーム独自の理念を掲げ、実践に向けた取り組みが展開されています。	○	地域密着型サービスの役割について、理念に反映させたいとのことなので、見直しに期待します。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念は、スタッフルームに掲示され、唱和やミーティングを活用した周知が行われています。スタッフにも十分浸透していることをヒアリングやご利用者への接し方で確認しました。	○	ミーティングなどで理念について話し合ったことは、後日振り返りができるよう記録に残すことを推奨します。
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域行事への参加を、地域との協力・協働と捉え、近隣の保育園や中学校の行事へ積極的に参加されています。また、町内会にも加入されています。ホームの行事への参加も呼びかけられており、自主的に近隣の清掃活動も実施されています。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	前回の外部評価の結果を活かし改善活動が行われています。自己評価についても全スタッフで取り組まれており、評価制度の意義についてもスタッフに浸透しています。		

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議については今年の6月から開催されており、ホームを理解していただくための内容や火災対策、行事への協力依頼など活発な意見交換が議事録により確認できました。	○	まだ会議の実績は1回のみであり、開催頻度について再考が求められます。
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市からの委託で介護教室を開催されたり、市主催の会合等にも積極的に参加されています。日常的には、市の長寿社会課との連携に努められています。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	介護計画書の同意や毎月更新されるホームページは確認できました。ご利用者毎の状況報告は毎月の請求書手渡し時に口頭で行われています。また、金銭管理に関する報告は、同意書や預かり書を活用され、金銭簿と領収書による報告が行われています。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見箱を設置されており、年1回の家族会も行われていますが、具体的な意見等の運営への反映は確認できませんでした。	○	ご家族の意見を聴取する仕組みの検討を推奨します。気軽に意見を述べられる環境についてスタッフで話し合いを行うことから始められては如何でしょうか。
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	スタッフの異動（離職・入職含む）の家族への報告は面会時に行われています。職員の離職率は低く、ご利用者への影響を考え、職員が固定化するよう異動も極力控えられています。		

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	教育委員会というスタッフ教育について検討する場が設けられています。しかし、外部研修への参加は、新人スタッフ中心となっています。	○	スタッフ育成の面から、スタッフ一人ひとりの研修履歴等を把握し、教育計画を作成しバランスの良い研修受講についてご検討下さい。
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム連絡協議会に管理者が主体となり参加されていますが、最近のその他の取り組みは確認できませんでした。	○	事業所間の相互見学など積極的な取り組みにより、質の向上やスタッフのスキルアップにつなげる活動を期待します。
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前にはまず見学して頂くことから始められています。入居直後は家族との連絡を密にし、必要に応じて家族からのお手紙を活用しながら馴染まれるまで工夫されています。	○	見学時の記録等を整備され、入居判定やその後の計画作成などに有効活用されることをご検討下さい。体験入居などへの取り組みもご検討されることを期待します。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	調理に関することなど、ご利用者から教えられることは多々あり、また、ご利用者から励まされることも多いとのことです。出勤時には「おかえり」とご利用者から声をかけていただくなどの例も聴取できました。		

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の関わりの中で意向の把握に努められています。把握したことはフェースシートや経過の記録に記録されています。また、家族との情報交換も重要視されています。	○	日々の気づきの記録については断片的に経過の記録等に残すだけではなく、積み上げられ介護計画の見直しなどに活かせるような仕組みづくりを推奨します。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映した介護計画を作成している	日々の関わりの中でのスタッフの気付きは、日々計画作成担当者に報告され、本人・家族・主治医・スタッフからの情報をもとに介護計画を作成しているとのことです。介護計画の中でご家族や医療機関との関わりは確認できました。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	3ヵ月ごとに、介護計画について評価し見直しが行われています。また、ご利用者の状態変化があった場合の随時の書き込みなど、介護計画の変更事例も確認できました。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	ご利用者やご家族の要望や状況に応じて、近隣のお墓参りや初詣について支援されています。また、併設のデイサービスの行事へ参加されたり、デイサービス利用者が訪問される事例も確認できました。		

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご利用者は、ホーム併設病院の他、従来からのかかりつけ医で医療を受けておられます。かかりつけ医はご利用者等の希望により選定されています。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	医療的対応は医療機関との連携により取り組んでおられます。終末期についての希望はフェースシートに記録されており、ターミナルに関するマニュアルも整備されています。また、看取りの実績もあります。		
Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	言葉遣いや対応などご利用者のプライドに対する配慮は見受けられます。また、個人情報保護に関するマニュアルも整備されており、個人情報の漏洩防止などへの取り組みもうかがえます。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的な一日の流れはありますが、声かけを積極的に行いご利用者の意向を踏まえた対応を心掛けてあります。		

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	訪問時には、ご利用者とスタッフが下ごしらえから後片づけまで協働されていました。食事中は、スタッフが同じ食事を同じテーブルで食し、支援が必要なご利用者対応も行われています。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴は2日に一回で、曜日や時間帯が設定されています。ただし、ご利用者の希望に応じて設定時間外や別日でも対応されています。現在、グループホームBでは、夜間に入浴されるご利用者がいらっしゃいます。	○	入浴時間や曜日などを設定せず、利用者の希望に応じた柔軟な対応が今以上に可能になるよう、今後の体制整備に期待します。異性介助については、ご利用者やご家族の心理面も踏まえて再検討されることを期待します。
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	食事の準備や後片づけ、花への水遣りなど自発的に行われています。ご利用者の生活歴や職業歴などを活かしたおやつ作りなどの事例も聴取できました。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天候に配慮した上で、支援されています。市場やコンビニエンスストアなど散歩に誘導する取り組みも見受けられました。屋外清掃に誘ってスタッフの手伝いをされる事例も聴取できました。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は施錠されることなく、ご利用者の外出は、見守りにより対応されています。安全面からセンサーマットを使用されています。		

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけしている	年2回の火災訓練を実施され、連絡先一覧表も整備されています。しかし、地域との連携については今後の課題とのことでした。また、食料品の備蓄や災害時の必要品などの準備はまだ十分とは言えない状況です。	○	運営推進会議で災害時の協力を呼びかけるなど、継続した取り組みを期待します。また、食料品の備蓄や必要品の準備など様々な災害を想定した対策が必要です。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	献立については、栄養士によりチェックされ、バランスなどについて専門家の視点で検討されています。食事や水分摂取量についてもチェックされており、食事量の個別対応にも配慮されています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	テーブルには季節の花が飾られ、ベランダでも花が栽培されています。ロールカーテンによる光の調整や、月ごとの掲示物に配慮されています。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	持ち込み品には特に制限を設けられておらず、ご家族と相談され馴染みのものを持ってきて頂くよう働きかけも行われているとの事です。寝具やダンス、ソファ等持込が確認できました。		

※  は、重点項目。

※ WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票を添付すること。